



映画監督 林 弘樹

- ・図書館プロデューサー
- ・全国公民館応援団長
- ・経産省キーパーソン研究会委員
- ・内閣府地域活性化伝道師
- ・総務省地域力創造アドバイザー
- ・農水省 農山漁村活性化支援専門員
- ・文化庁 日本遺産専門員
- ・渡嘉敷島 観光大使
- ・渡名喜島 教育推進大使

1974年生まれ、さいたま市出身、獨協大学外国学部卒。

幼少時より医者を目指していたが、15才の時に観た映画「ニューシネマパラダイス」で魂を揺さぶられ、映画の道を志す。大学卒業後、助監督として黒沢清、北野武監督等の元で働く。28才の時に、映画「らくた銀座」にて監督デビュー。国際映連・A級世界十大映画祭にも招待され、評価をうける。

全国各地で、今まで数十万人の人を巻き込み、日経地域情報化大賞、地域づくり総務大臣賞受賞。映画「ふるさとがえり（2011）」は公開から4年半たった今もなお、全国1200ヶ所でロングラン公開中。アジア・太平洋の子供達を繋ぐ、映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」が全国劇場・世界30か国で上映。最新作は「ふるさとがえり」の魂を受け継ぐ女性たちの物語「惑う After the Rain」が全国ロードショー。

自分がこうなってしまったのは、
自分を取り巻く環境が悪かったからだと言おう。

だが環境の影響など、
何ほどのものではないと 私は信じている。

世の中で成功している人間は、
望む環境を求めて行動し、
見つからなければ それを自ら作りだしている。

もし君と僕が りんごを交換したら、
持っているりんごはやはり、ひとつずつだ。

でも、もし君と僕が アイデアを交換したら、
持っているアイデアは 2つずつになる。

人生とは 自分を見つけることではない。

人生とは 自分を創ることである。

（劇作家：ジョージ・バーナード・ショー）

結局のところ
熱量の絶対値が
高いのか、低いのか
そーなんだと
僕は思うのです。

監督 林 弘樹